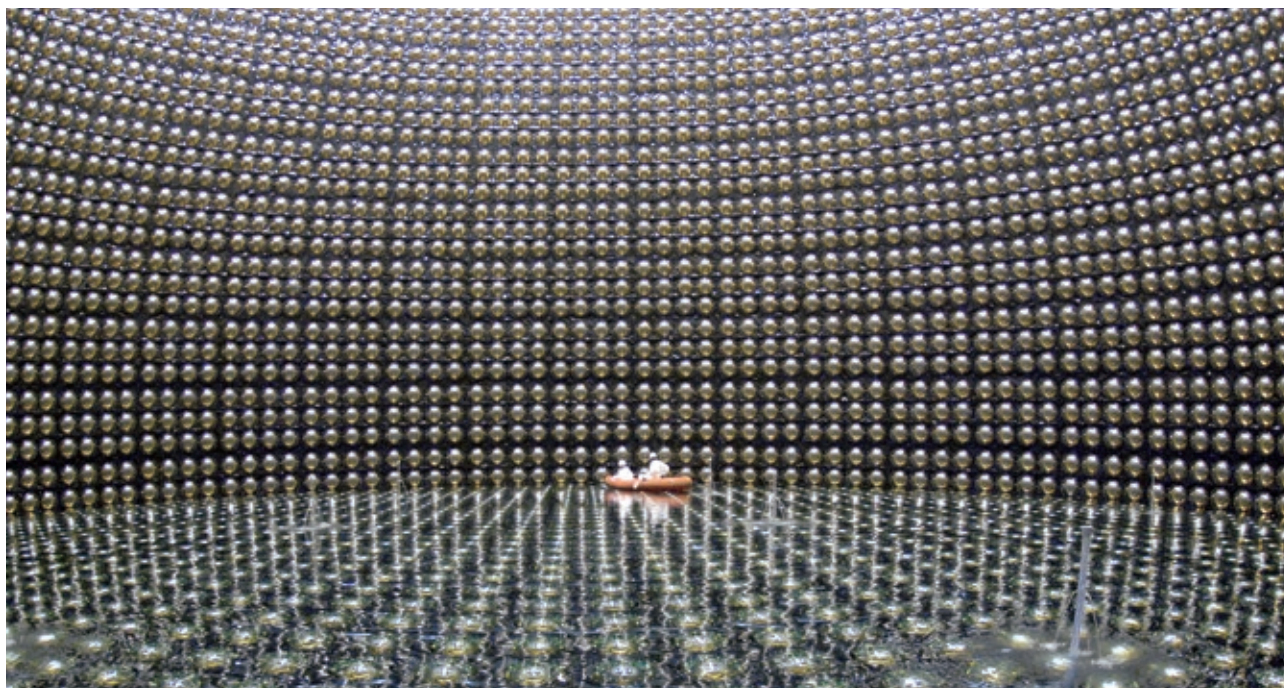


最先端の宇宙線研究にも貢献しています



「スーパーカミオカンデ」 写真提供 東京大学宇宙線研究所 神岡宇宙素粒子研究施設

水中に溶けている酸素を除去する
中空糸膜モジュール

中空糸膜とはストロー状になった膜のことで、小さい体積で大きな膜面積が得られるため、性能の高い分離膜装置を作ることができます。中空糸膜を束ねてケースに充填、封止したものを中空糸膜モジュールといいます。

当社の中空糸膜モジュール「SEPAREL®」は、水中に溶けている酸素を除去するもので、ボイラー用の脱気膜モジュールとして事業を開始し、その後、半導体製造工程で使用される超純水の脱気や帯電防止等に、用途が広がっています。



メンブレン本部
メンブレン生産・技術部

竹内 操

「スーパーカミオカンデ」の
超純水脱気装置として活躍

2002年、小柴昌俊東京大学名誉教授が、「天体物理学、特に宇宙ニュートリノの検出へのパイオニア的貢献」によりノーベル物理学賞を受賞されました。この研究で、超新星爆発から飛来したニュートリノの観測に成功した東京大学宇宙線研究所の装置が「カミオカンデ」です。これと同じ原理で、さらに高性能化した「スーパーカミオカンデ」は、50,000トンの超純水を蓄えたタンクと、その内部に設置した約11,200本の光電子増倍管などからなります。

中空糸膜モジュール「SEPAREL®」は、「スーパーカミオカンデ」の超純水脱気装置に採用され、最先端の研究に貢献しています。



中空糸膜モジュール
「SEPAREL®」